

生き物（生命）との出会い・ふれ愛^{あい}（ツマグロヒョウモン）

6月～7月



チクチクしないよ。



ピオラの花に
たくさんいたよ。

園庭のプランターに植えてあるピオラの花に黒い幼虫を発見しました。「毛虫かな」「それはツマグロヒョウモンの幼虫だよ」「図鑑で確かめてみよう」と言いながら観察し、飼育が始まりました。



ほくも触ってみたいな。



ピオラの葉っぱが好きなんだね。



葉っぱをいっぱい食べて
緑色のフン出したよ。

サナギになっていく過程や、羽化する瞬間も見ることができました。子どもたちは、感じたことを友達と伝え合い、感動を言葉にしていました。

飼育する中でスミシ類の葉しか食べないことに気付いた子どもたち。「ツマグロちゃんにご飯をあげよう」「ピオラの花はないかな」と毎日園庭を探していました。保護者も、初めは「毛虫みたい」と言っていたのですが、子どもと一緒に世話をするうちに「チョウになるのが楽しみね」と興味が湧いてきたようです。園が休みの日には、家族でピオラが咲いている場所を探しに行ったというエピソードも聞きました。

ついに園庭のピオラは全てなくなったため、家庭に投げかけてみると「家の庭に咲いていたから、どうぞ」と持って来てくれる保護者もいました。



私の手を散歩
しているよ。

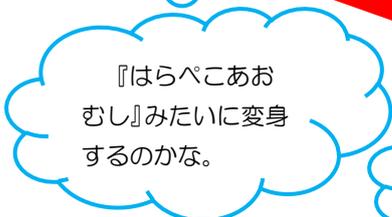
幼虫



キラキラ
しているね。

サナギ

きれいなチョウに
なったよ。



『はらぺこあお
むし』みたいに变身
するのかな。

羽化

花の蜜を
吸っているよ。

成虫

ピオラの葉を食べる様子を見たり、手の平に乗せたりしているうちに「ツマグロちゃんってかわいいね」と大切に思う気持ちが芽生えてきました。

飼育ケースを抱えて園と家庭を行き来している子どももいました。保護者も一緒に調べたり観察したりし、生命のつながりや不思議さをみんなで共有する貴重な体験となりました。